

平成 29 年 3 月 11 日 年次支部協議会出席者名簿

年次	支部長	幹事長	副支部長等	執行部役員会	懇親会出席
29			志邨守夫		志邨守夫
30	(30会総会)				
31	長瀨 富男				
32		猪瀬邦司	吉野 實、		猪瀬邦司、吉野 實
33					
34		宮崎雄文			
35	金川 護	成清治道			金川 護、成清治道
36	高橋利夫	石川捷敏			高橋利夫、石川捷敏
37					
39	白石紀一		小竹正倫	柳田晋次、高橋丈雄 (小竹正倫)	白石紀一柳田晋次 小竹正倫、高橋丈雄
40	佐々木幸男	古谷泰久	新井嘉昭、	(佐々木幸男)	佐々木幸男、古谷泰久 新井嘉昭、
41			柳下敏男		柳下敏男
42	小林定寿	小嶋輝一		鈴木康二	小林定寿、小嶋輝一
43	龍門海行		小塚正人		龍門海行
44	吉永匡宏		松木茂夫	(松木茂夫)	吉永匡宏、松木茂夫
45	相場有二	山城博光		(相場有二)、(山城博光)	相場有二、室 勝弘、 山城博光、
46	半澤 勉	遠藤一義	増田晃次郎、才野智裕	(半澤勉)、(増田晃次郎) (才野智裕)	半澤勉、増田晃次郎、 遠藤一義 才野智裕
48	山口隆司	佐藤愛子	小田眞一	(佐藤愛子)(小田眞一)	山口隆司、佐藤愛子 小田眞一
53		高瀬文秀			
54	掛水省三		伊藤 充	(掛水省三)	
55	川島正博				川島正博
57	浜田英明		田川厚子	(浜田英明)	浜田英明、田川厚子
58					
59	林 裕治				林 裕治
63					
平元		小川 学		小川 学	小川 学
平 2	山本 卓			山本 卓	
平 11		久保良太			
平 19		佐村大侑		佐村大侑	
平 25	岩倉 史門			岩倉 史門	
平 28			大野展広		大野展広

年次支部協議会平成29年度予算編成・案について

1. 収入の部

- (1) 年度会費は前年度を基に計上。
- (2) 懇親会費は参加者負担金を計上。(約3回分)
- (3) 事業活動費は事業支援費等に対する助成金(学生支援・広報活動)を見込んで計上。
- (4) その他の収入は、普通預金利息を計上、模擬店売上は不確定のため項目のみ計上した。

2. 支出の部

- (1) 会議会合費は会議実施経費および懇親会費(個人負担)と助成金を計上。
- (2) 通信費は年次支部協議会、執行役員会、全体会議等の開催通知送料他を計上。
- (3) 印刷費は会議等の資料および封筒の印刷代を計上。
- (4) 消耗品費は年次支部協議会事務局文具費等を計上。
- (5) 手数料は諸費用の支払い及び預金引出手数料等を計上。
- (6) 事業支援費
 - ① 交流委員会へは若年年次支部へ積極的な働きかけを行うための経費として。
 - ② 学生支援委員会は3年生(留学生含む)への就職支援活動費として計上。
 - ③ IT化推進委員会へは年次支部協議会として全ての卒業年次支部とのネットワークの構築および、その情報化支援活動費として。
 - ④ 大学支援委員会(大学が行うグローバル化の情報収集及び支援等)。
 - ⑤ 広報部は年次支部協議会会報の年2回発行(卒業生配付用含む)を予定し計上。

* 平成27年度実施形態を参考にして予算案を作成 *

平成29年度年次支部協議会収支予算案

収入の部		支出の部	
年会費	300,000	会議会合費	600,000
懇親会費	400,000	通信費	60,000
事業活動費	1,050,000	印刷費	40,000
学生支援委員会	250,000	消耗品費	10,000
広報活動費(会報発行)	700,000	手数料	5,000
年次支部活動費	100,000	事業支援費	1,250,000
その他の収入	600	学員交流委員会	50,000
利息収入	600	学生支援委員会	250,000
模擬店売上	0	IT化推進委員会	100,000
(ホームカミングデイ)		大学支援委員会	115,000
		(グローバル化支援)	
		スポーツ応援団委員会	35,000
		(箱根駅伝横断幕設置等)	
		広報部(会報発行)	700,000
小計	1,750,600	小計	1,965,000
前期繰越金	3,244,522	次期繰越金	3,030,122
合計	4,995,122	合計	4,995,122

平成29年3月11日

年次支部協議会

会計幹事 平岩弘邦

広報委員会平成 28 年度事業中間報告、平成 29 年度事業計画案

1、事業の目的

学员全体のより緊密なネットワーク作りを構築する一環として会報を発行し、特に新卒業者（準会員）に対して学员会への理解を促し、若い世代層の参加呼びかけ、獲得を HP 推進と並行して行う。

学员のみならず、学生・教職員等への広範囲な取材活動を通じ、年次や地域を超えて参加できるような大学関連行事、支部活動の様々な情報提供し、各支部の相互理解、世代間の連携、交流を深めることを目的とする。

2、事業概要

年間 2 回発行予定、10 月は主に一般各会員向け、3 月は新卒業者向けの内容で編集し、若手学员の学员会理解度を高め、入会呼びかけをする。

3、平成 28 年度報告

①第 6 号はすでに 10 月 1000 部発行済（ホームカミングデー向け関連特集記事を掲載） 年次ニュース 6 号を参照

10 月中旬に各年次支部長、幹事長、学员会本部や関連部署や、ホームカミングデー当日では東北大震災で卒業式が出来なかった招待学年の参加者 250 名にも配布し、学员会や年次支部の PR を図った。

②第 7 号は、現在発行準備中で 3 月の卒業式に新卒業者向け 6500 部配布予定、3 月 20 日頃には一般会員向けに 1000 部発行予定。合計 7500 部。

内容詳細は、3 月卒業予定の新卒業者へのインタビュー、ホームカミングデーで 5 年後の再会を果たした 2011 卒業者、卒業 50 周年記念の昭和 41 年次支部の皆様などの卒業者特集を中心に、活躍する若き OB などの記事、年次支部協議会各位委員会の活動報告、学员会 PR 等の記事を掲載予定である。

4、平成 29 年度事業計画

上記平成 28 年度事業内容と基本的には変わらず、年 2 回発行の予定。

広報委員会は第 6 号までは他に委員が実質不在だったので、今後は委員を増員し幅広い層の情報やアイデアを取り入れて、新しい感覚の広報誌をめざして委員会体制強化を図りたい。

5、会報発行予算

発行部数：10 月 1000 部（配布先：各年次支部 600 部、本部配布 200 部、その他 200 部）

3 月 7500 部（配布先：準会員 6500 部、他は 10 月同様）

発行予算：総額 720,000 円（本部申請額 700,000 円以内予定）

28 年度（①6 号 1000 部 250,000 円 ②7 号 7500 部 440,000 円予定
③送料 30,000 円）

29 年度（8 号、9 号 同上） 27 年度収支実績 709,922 円（7,000 部）

平成 29 年 3 月 11 日

学員交流委員会・平成 28 年度事業計画と進捗結果報告

1. 事業の目的

- ① 年次支部間の世代を越えた学員同士の情報交換・親睦・交流を実現するため、イベントを企画する。
- ② 2016 年度新卒支部、若手年代支部、現役学生等への交流会を通じて卒業後の支援・サポート体制作りを構築する。
- ③ 中堅年代支部（昭和 50 年代～概ね平成一桁年代・白駿会まで）との「交流懇談会の開催」により、各世代間の親交を深め連携を図る。

2. 今年度の事業概要

- (ア) 2017 年度新卒支部の設立準備への支援・協力（例：卒業パーティの開催等への協力）と、設立後の活動のフォロー。

⇒28 年 10/23 日 HCD で 2010 年卒の卒業式の際、当協議会存在の PR 実施済。

- (イ) 上記中堅年代支部会員との交流懇談会の開催を実施し、世代間の理解と親睦を深める。最初は支部長・幹事長等で実施見込み。・本年 10 月予定

⇒29 年 2/4 土曜日、620 号室にて大学支援、学生支援との共催で「中大経済学部伊藤ゼミ・プレゼンを実施済。参加者 34 名+学生・先生 13 名=計 47 名。

- (ウ) 年次支部間の懇親イベントを通じ、情報交換、交流を実現する。

・落語会、観劇、講演会、セミナー等

⇒29 年 7/22 日土曜日、中大落語会開催予定

・7 月中旬開催の BBQ(バーベキューパーティ)等

⇒28 年 7/30、31 土日で千葉県勝浦市で実施済。参加者 8 名。

⇒28 年 9/17 土曜日・バレーボール部秋季リーグ戦応援実施済。参加者 13 名。

※上記イベントは支部内外の中大人脈をフル活用し実現する予定。

※特に設立間もない支部への参加呼びかけとその実現を図る。

- ④ 1 支部単位から 2～4 支部を単位とするユニットを形成し、それを 1 セルとして小集団の活動単位としていく方向。

最初の試みとして多摩キャンパスに移転した当時最初の 4～1 年生である 57 ネット、58 会、1984 会、60 会のユニット結成を実現していく方針。

⇒29 年 1/21 土曜日・57 講演会・新年会時に 1984 会参加済、参加者 26 名。

※ 解散支部（昭和 26 年会）へのサポート協力（イベントなどのご案内等）

⇒三十年会堀合会長に動いて頂くも連絡取れず。進展ない状況。

平成 29 年 3 月 11 日

年次支部協議会・学員交流委員会・平成 29 年度事業計画

1、 事業の目的

- ① 年次支部間の世代を越えた学員同士の情報交換・親睦・交流を実現するため、イベントを企画する。
- ② 新卒支部、若手年代支部、現役学生等への交流会を通じて卒業後の支援・サポート体制作りを構築する。
- ③ 中堅年代支部（昭和 50 年代～概ね平成一桁年代・白駿会まで）との「交流懇談会の開催」により、各世代間の親交を深め連携を図る。

2、 今年度の事業概要

- ① 学員会本部と連携し、新卒支部の設立準備への支援・協力（例：卒業パーティーの開催等への協力）と設立後の活動のフォロー。
- ② 大学支援、学生支援委員会との 3 委員会合同企画の実施。
経済学部伊藤ゼミ他とのプレゼン大会応援等、中大現役学生との交流の実現。
- ③ T&E イベントを通じ、年次支部間の交流の実現。
・落語会、BBQ(バーベキューパーティ)、セミナー等
※上記イベントは支部内外の中大人脈をフル活用し実現する予定。
※特に設立間もない支部への参加呼びかけとその実現を図る。
- ④ 多摩キャンパス移転後最初の 1～4 年生である 57 ネット、58 会、1984 会、60 年会のうち 2～4 支部を単位とするユニットを形成し、それを 1 セルとして小集団の活動単位としていく方針は今年度も指向していく方向とする。

※解散支部（昭和 26 年会）へのサポート協力（イベントなどのご案内等）
学員会本部事務局等からの情報収集を 29 年度も継続する方針。

3. 事業予算 50,000 円

- 内容 ・新設支部への協力支援
・中堅支部・若手支部会員との交流イベント開催費用等

2017 大学支援委員会事業計画

※大学支援委員会の目的

『中央大学を支援し、ブランドの圧倒的な向上に寄与する。』

1. 大学のグローバル化推進を支援する。……国際的に活躍できる人材の育成支援
2. 一流の経済人を輩出できるよう学生の支援を行う。⇔「建学の精神：実地応用の素を養う」
3. オリンピックや、箱根駅伝で活躍できるように学生スポーツの応援を行なう。
(スポーツ応援団と連携協力)

1. グローバル化支援活動 (※)

中央大学国際センターと連携し、英語プレゼンテーションコンテストや日本人学生と留学生の自然な文化的な交流の支援を行う。(文化交流(お祭りや音楽会、スポーツ大会等の開催の支援)を通じて、それぞれの国の理解が進むよう支援する。)

2. 実地教育支援 (※)

- (1) 経済学部ゼミ連合会(学生団体)への協力(人的支援)
「経済学部プレゼンテーション大会」(毎年11月)に向け協力を行なう。
- (2) 商学部や総合政策学部のゼミ連への協力支援も視野に入れ推進する。
- (3) そのほか、社会的な課題への取り組みや地域貢献を行なう学生団体へ協力を行なう。

3. 箱根駅伝支援 (※) (スポーツ応援団との連携と協力)

- (1) 箱根駅伝応援のため、箱根大平台に「闘魂たぎる火と燃えよ!」の横断幕を設置する。
6月 全日本駅伝大会予選会
10月 箱根駅伝予選会
11月 地主様から、設営について承諾を取りつける。
12月 横断幕を設営⇒設営後撤去まで、箱根町在住学員の協力により点検を実施
1月2日、3日 大平台(5区・6区)で、学員多数(約30名)が応援を行なう。
1月3日 横断幕を撤去
- (2) 差入れ
①長野の学員の協賛により、信州りんご(300個~600個)を差入れを行なう。
②千葉合宿中、千葉の支部・学員よりスポーツドリンクの差入れが行なわれている。

連絡先 小田 090-6469-7737 si_ma1982@yahoo.co.jp まで

大学支援委員会実行報告(2016年度)

201703

日 程	場 所	グローバル化支援 中央大学国際センター	経済学部ゼミ連合会 支援		箱根駅伝支援 中央大学	委員会関連	備 考
			経済学部ゼミ連合会	経済学部ゼミ連合会			
2016年							
2月～8月							
多摩校舎、駿河台記念館等							
8月	上旬	ハワイ大学マヌア校	鈴木副代表ら数名でハワイ大学を訪問し、留学中の中大生やハワイ白門会と交流				
9月	26日(月)	明治記念館				地方創生講演会: 高野誠鮮氏	(ローマ法王にお米を食べさせた男) ※参加賞募集協賛者少数
10月	8日(土)	多摩校舎 Gスクエア	※GO GLOBAL JAPAN 英語スピーチコンテスト学内選考会(参加9組35名)				
	14日(金)	多摩校舎		※講演会(委員会後援)「心に響くプレゼンテーションとは」講師:62卒假谷氏			
	15日(土)	立川昭和記念公園			予選会(落選)		地主様あて電話とお手紙で御礼
	23日(日)	多摩校舎				白門学員祭	
11月	下旬		GO GLOBAL JAPAN 英語スピーチコンテスト首都圏選考会(18大学⇒8大学に)				
	12日(土)	多摩校舎 経済学部		※ゼミ連プレゼンテーション大会(参加69グループ)			
	23日(水・祝)	早稲田大学	※GO GLOBAL JAPAN 英語スピーチコンテスト首都圏大学決勝大会				※中央大学は3位入賞(1位は、東京工業大学)
12月	下旬				信州りんご300個差入(長野の学員の協力)		
	中旬	箱根町大平台					※横断幕「闘魂たぎる火と燃えよ」設置中止、代表幹事と地主様あて挨拶
2017年							
1月	2日	大手町⇒箱根町				地方創生研究会(神奈川県内)	
	3日	箱根町⇒大手町					
2月	4日(土)	駿河台記念館620号+近くのカフェ		伊藤伸介ゼミ発表会		力向上計画「 新事業 」	学員34名、先生・学生13名参加

学員会 年次支部協議会 大学支援委員会 小田 : 090・6469・7737

2017年3月11日

報 告 書

1. 事業名称 「IT化推進」プロジェクト
2. 事業主体 中央大学年次支部協議会
IT化推進委員会 責任者氏名 小川 学
3. 事業の目的
 - ①IT化することにより年次支部協議会メンバー間の連絡を容易にする。
 - ②各年次支部の活動の活性化を支援する。
 - ③年次を跨った活動の活性化を支援する。
4. 事業概要
 - ①年次支部協議会メンバーに対する連絡網の構築
 - ②各年次支部のホームページ作成支援
 - ③年次を跨った共通ホームページの作成
5. 実施時期 2016年3月1日～2017年2月28日（計12回）

6. 収支予算

収入	概要	金額	支出	概要	金額
前年度繰越		0	通信費		66,000
年次支部拠出金		80,340	データ保管料		11,340
学生会事業費		0	資料SCAN料		3,000
会費		0			
合計		80,340	合計		80,340

7. 期待される成果（過去の実績）

- ①郵便費用が削減されるので、通信費のコスト削減
- ②各年次支部内の告知が容易になるので、年次支部内活動の活性化が図れる。
- ③年次を跨った支部間の告知が容易になるので、年次を跨った活動の活性化が図れる。

8. 事業費申請額 100,000円

※詳細計画書添付（無）

1. 基本方針（規約第2条）

- ①年次支部との連携、親睦を図るとともに中央大学及び学会の施策を推進する。
- ②中央大学及び学会の発展、興隆に寄与する。
- ③新支部の結成支援を行う。

2. 会議など

(1) 年次支部協議会全体会議

・第1回

日時 平成28年5月14日（土）、会議 15:10~17:00 550号室
懇親会 17:10~19:10 プリオール

- 議題
- ・平成27年度事業報告・同27年度決算報告
 - ・平成28年度事業計画・同28年度予算計画
 - ・ホームカミングデー実施内容について
 - ・学会副会長、常任幹事、幹事及び監事選任について

・第2回 ~~（予定）~~

日時 平成28年12月17日（土） 会議 15:10~17:20 550号室
懇親会 17:30~19:30 プリオール

- 議題
- ・平成28年度事業計画の進捗状況報告と今後の予定
 - ・その他報告事項

・第3回 ~~（予定）~~

日時 平成29年3月11日（土） 会議 15:30~17:20 550号室
懇親会 17:30~19:30 プリオール

- 議題
- ・平成28年度事業計画進捗報告
 - ・平成29年度事業計画案について
 - ・平成29年度予算案について

(2) 執行部役員会会議

・第1回 平成29年4月20日（木）19:30~21:00 550号室

- 議題：・平成28年度事業報告案 ・同28年度決算報告案
・平成29年度事業計画案 ・同29年度予算案
・ホームカミングデーについて

・第2回 平成29年5月20日（土）14:00~15:20 550号室

- 議題：・平成28年度事業報告・同28年度決算報告
・平成29年度事業計画案・同29年度予算案

・第3回 平成29年9月21日（木）19:30~21:00 550号室

- 議題：・平成29年度事業計画進捗報告

1. 基本方針（規約第 2 条）

- ①年次支部との連携、親睦を図るとともに中央大学及び学会の施策を推進する。
- ②中央大学及び学会の発展、興隆に寄与する。
- ③新支部の結成支援を行う。

2. 会議など

(1) 年次支部協議会全体会議

・第 1 回（予定）

日時 平成 29 年 5 月 20 日（土）、会 議 15:30~17:20 550 号室
懇親会 17:30~19:30 プリオール

議題 ・平成 28 年度事業報告・同 28 年度決算報告
・平成 29 年度事業計画案・同 29 年度予算案
・ホームカミングデー実施内容

・第 2 回（予定）

日時 平成 29 年 12 月 16 日（土） 会 議 15:30~17:20 550 号室
懇親会 17:30~19:30 プリオール

議題 ・平成 29 年度事業計画の進捗状況報告
・その他報告事項

・第 3 回（予定）

日時 平成 30 年 3 月 17 日（土） 会 議 15:20~17:20 550 号室
懇親会 17:30~19:30 プリオール

議題 ・年次支部協議会執行部役員、学会幹事選任について
・平成 29 年度事業計画進捗状況報告
・平成 30 年度事業計画案 ・同予算案について

(2) 執行部役員会会議

・第 1 回 平成 29 年 4 月 20 日（木） 19:30~21:00 550 号室

議題： ・平成 28 年度事業報告案 ・同 28 年度決算報告案
・平成 29 年度事業計画案 ・同 29 年度予算案
・ホームカミングデーについて

・第 2 回 平成 29 年 5 月 20 日（土） 14:00~15:20 550 号室

議題： ・平成 28 年度事業報告・同 28 年度決算報告
・平成 29 年度事業計画案・同 29 年度予算案

・第 3 回 平成 29 年 9 月 21 日（木） 19:30~21:00 550 号室

議題： ・平成 29 年度事業計画進捗報告

- ・第4回：平成29年12月16日（土）14:00~15:20 550号室
議題：・平成29年度事業計画進捗報告
- ・第5回：平成30年1月18日（木）19:30~21:00 550号室
議題：・年次支部協議会執行部役員、学員会幹事候補案
- ・第6回：平成30年2月15日（土）19:30~21:00 550号室
議題：・年次支部協議会執行部役員及び学員会幹事選任について
・平成30年度事業計画方針案・同30年度予算方針案について
- ・第7回：平成30年度3月17日（土）14:00~15:20 550号室
議題：・年次支部協議会執行部役員及び学員会幹事公表
・平成29年度事業計画の進捗報告
・平成30年度事業計画案について
・同30年度予算案について

*全体会議における講演会なども適宜実施予定する。

(3) 各委員会による活動

- ①学員交流委員会、
- ②IT推進委員会、
- ③学生支援委員会
- ~~④学員交流委員会~~
- ⑤大学支援委員会
- ⑥広報部会
- ⑦スポーツ応援団委員会

以 上

2016年度 活動報告

学生支援委員会

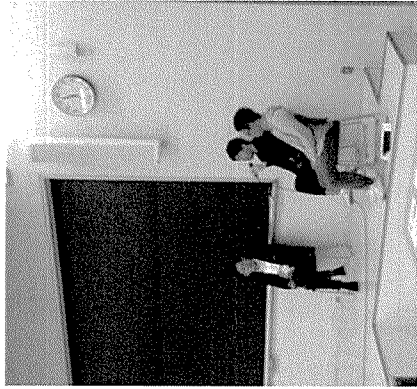

2017年3月11日

ミッション・ターゲット・ゴールは昨年度を踏襲する想定ですが、学生（卒業生）に対する社会の要請を検討のうえ、適宜修正を加える場合があります。

ミッション	<ul style="list-style-type: none">● 学生支援委員会は、自身のキャリアを真剣に考えている学生のために、ロールモデルとなるような中央大学出身のOBOGあるいは中央大学に関わりのある社会人との交流機会を提供する。● その機会（学生と社会人の接点）を通じて、学生があと一歩で社会に自信をもって踏み出せる、自身のキャリア選択に寄与する支援とする。
ターゲット	<ul style="list-style-type: none">● 今ある姿を認識し、また、あるべき姿を他者（学生/社会人）との対話を通して自覚できる学生● あるべき姿に近づくために粘り強く努力する行動力（実現力）のある学生
ゴール	<ul style="list-style-type: none">● 学生は他者（学生/社会人）との対話を通して価値観の多様性を認識し、キャリア選択の自走化に繋げる。● 学生支援委員会は、自ら切り開きキャリアに自信をもち、社会へはばたく学生を輩出する支援を行う。● 支援策を通して、卒業後の年次支立ち上げに寄与するネットワークの構築に繋げる。

※中央大学の「Go Global」などの方針に呼応するよう、内容や協力者を工夫することも想定しています。

2017年2月25日(土)にキャリアセンターにご後援頂き、当会主催のイベントを開催。就職活動を目前とした大学3年生を中心に約50名の学生が参加。

	2017年02月25日 (土)	場所	中央大学多摩キャンパス 文学部棟
概要	<p>1. レクチャー：中大生のキャリア形成に関して（就職活動環境とキャリア形成とは）</p> <p>2. ワークショップ：キャリア形成に必要な価値観の棚卸</p> <p>3. パネルディスカッション：社会人の経験談の紹介および質疑応答</p>		
詳細	<ul style="list-style-type: none"> ● 主催：学生支援委員会 ● 後援：キャリアセンター ● 参加者数：46名 <p>学年内訳：2年生8名/3年生36名/4年生2名 学部内訳：法11名/経13名/商6名/文13名/総政3名</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 参加者満足度（各コンテンツへの平均評価）：平均4.1/5.0 <p>レクチャー：4.0 ワークショップ：4.2 パネルディスカッション：4.2</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 社会人協力者：4名（うち当委員会3名） 協力者経歴 <ol style="list-style-type: none"> 1. 広告代理店を経て、ベンチャー 2. エンタテイメント、権利管理 3. 人材、メディア 4. 外資系コンサルティング <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: right;">↑レクチャー ←パネル</p>		

キャリアセンターとさらなる関係強化をはかるとともに、学生のキャリアを考える タイミンングに的確にイベントを企画する。

【企画】

- 双方向イベントの方が、学生の満足度は高い
 - ✓ レクチャーでは一般的な就職活動あるいは働くことに対するイメージを伝えしたが、一方的な話になってしまったこともあり、満足度は低い
- 就職活動時期直前ではあったものの、コンテンツへの満足度は比較的高い
 - ✓ 中大生の就職活動（キャリア形成）のスタートが遅い結果と思考
 - ⇒ 東大・早慶等の上位校あるいはトップ相当学生は2年生の終わりにはスタート
 - ✓ キャリア形成をはじめめる時期は夏前（6,7月）および学年がかわるタイミンング（2-3月）
 - ⇒ より訴求できる時期にイベントを企画することで、中大生のスタートダッシュを支援
 - ⇒ あわせて、学生・社会人双方の満足度も向上すると考えられる

【告知】

- キャリアセンターによる告知をベースに、より訴求できる内容を模索する
 - ✓ 1週間前の告知で約50名（予約は90名、キャンセル約15名）の参加
 - ⇒ キャリアセンターイベントでも7割の参加率のため、妥当な結果と考えられる

【オペレーション】

- キャリアセンターとの協力は今後も維持する
 - ✓ 教室の手配を依頼し、スムーズな会場確保を実現
 - ✓ 資料の印刷、会場準備等、オペレーションを強力にサポート
- 1週間前の告知であったが、約50名の学生が参加を達成
 - ✓ キャリアセンターとの協力関係は今後も維持し、さらに関係を強化を模索していく。
 - ✓ キャリアセンターとの連携は検討課題となる。

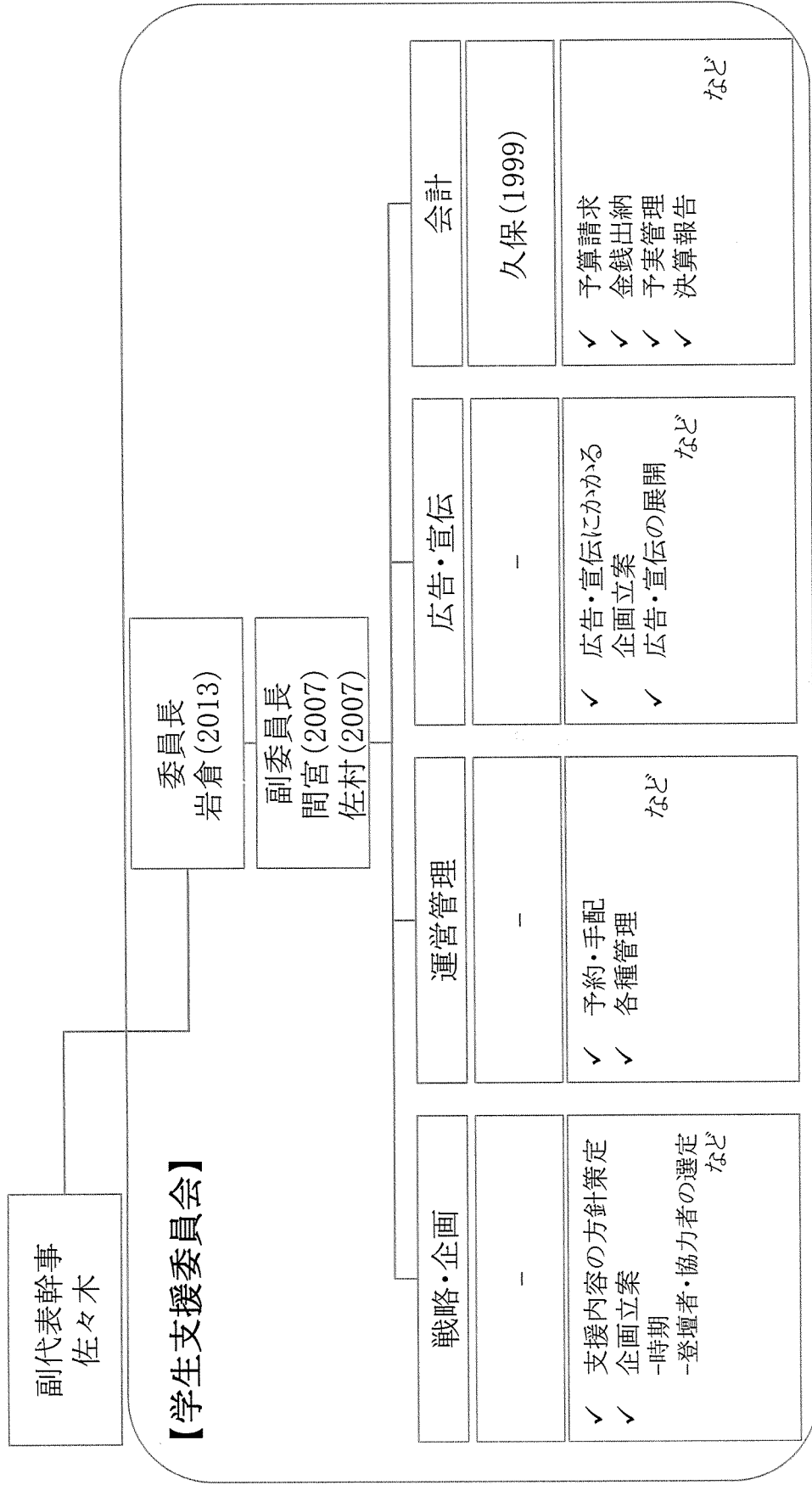
考察

予算執行額

本年度の予算執行は以下の通りです。

No.	大項目	小項目	詳細	予算	実績	特記事項
1	広告宣伝費	デザイン費用	デザイナーへの委託費用として	50,000円	-	キャリアセクター対応
2	冊子	配布資料		50,000円	-	キャリアセクター対応
3	チラシ	学内配布用		50,000円	-	キャリアセクター対応
4	印刷費	ポスター	学内掲示用	60,000円	-	キャリアセクター対応
5	Web媒体	デザイン等		60,000円	-	キャリアセクター対応
6	会議資料	委員会配布	(12月)	-	720円	
	通信費	郵便代金	切手 (82円×2,140円)	-	304円	メール連絡不可の方へ
		合計		330,000円	1,024円	

社会人を中心に本委員会の活動を推進しますが、必要に応じて学生と連携し、協働することも想定しています。学会会の活性化につなげます。



2017年度 活動方針

学生支援委員会

2017年3月11日

ミッション・ターゲット・ゴールは昨年度を踏襲する想定ですが、学生（卒業生）に対する社会の要請を検討のうえ、適宜修正を加える場合があります。

ミッション

- 学生支援委員会は、自身のキャリアを真剣に考えている学生のために、ロールモデルとなるような中央大学出身のOBOGあるいは中央大学に関わりのある社会人との交流機会を提供する。
- その機会（学生と社会人の接点）を通じて、学生があと一歩で社会に自信をもって踏み出せる、自身のキャリア選択に寄与する支援とする。

ターゲット

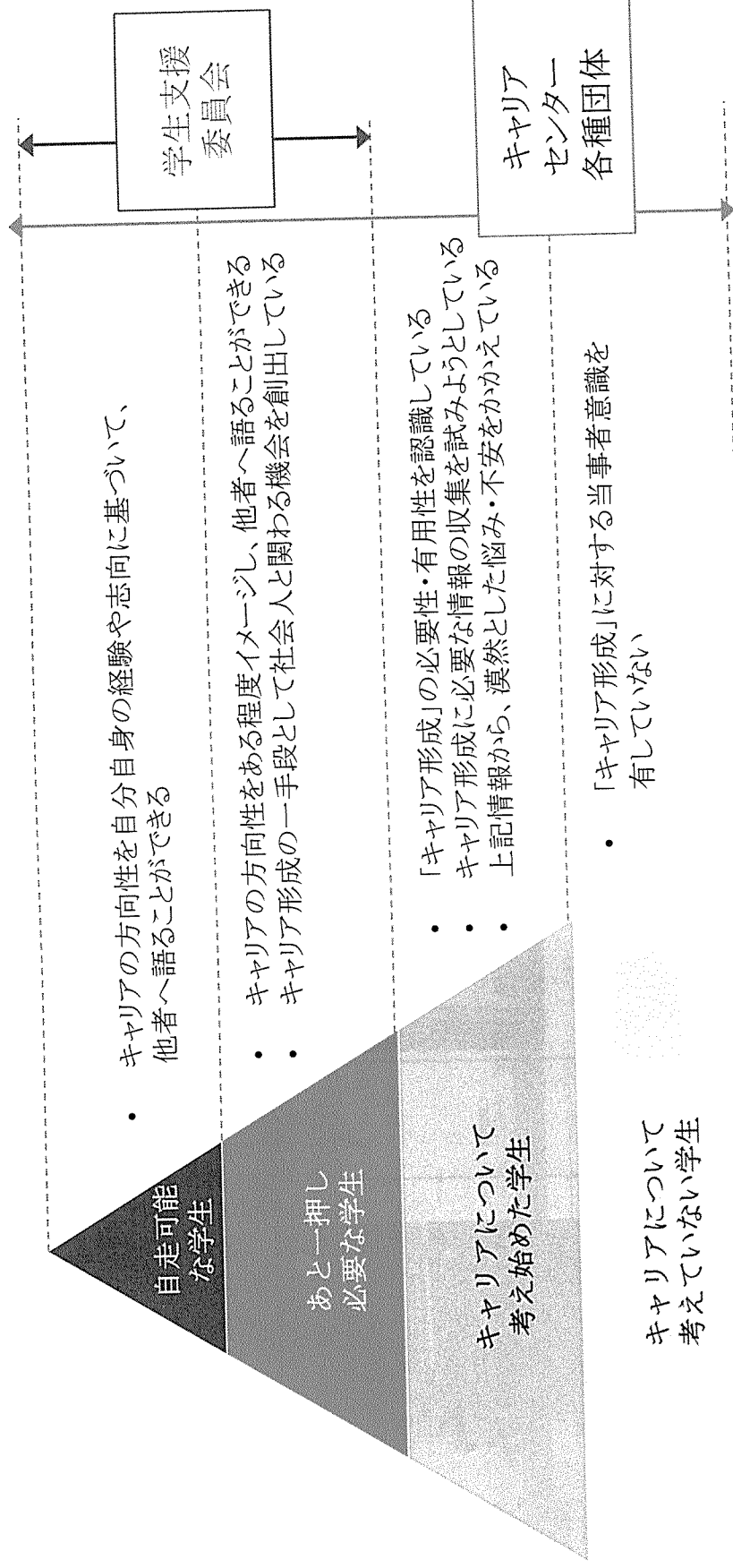
- 今ある姿を認識し、また、あるべき姿を他者（学生/社会人）との対話を通して自覚できる学生
- あるべき姿に近づくために粘り強く努力する行動力（実現力）のある学生

ゴール

- 学生は他者（学生/社会人）との対話を通して価値観の多様性を認識し、キャリア選択の自走化に繋げる。
- 学生支援委員会は、自ら切り開くキャリアに自信をもち、社会へはばたく学生を輩出する支援を行う。
- 支援策を通して、卒業後の年次支部立ち上げに寄与するネットワークの構築に繋げる。

※中央大学の「Go Global」などの方針に呼応するよう、内容や協力者を工夫することも想定しています。

(参考) 学生支援委員会の支援対象者のイメージ



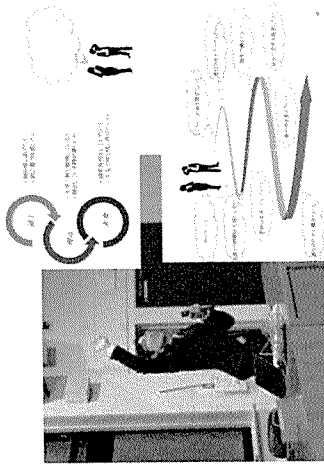
キャリア形成(就職活動)を検討し始めた対象学生に対して、現役社会人を中心とした講義型・対話型併用のプログラムおよび講演会を実施する。

① 基調講演



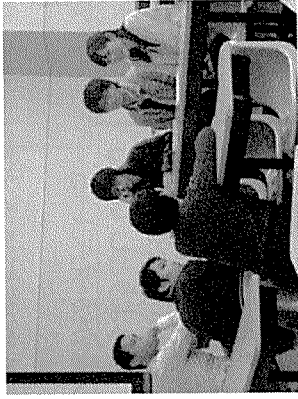
- キャリアや就職活動を考えるうえで重要な事柄について、社会人経験豊富なOB/OGあるいは専門家から講演いただく
- 近年は「南甲倶楽部」にご協力いただいている

② レクチャー



- キャリア形成の勘所を講義形式で説明する
- キャリアについて考えてもらう土台を作ると(社会人と対話する基礎をつくる)

③ 進路相談会

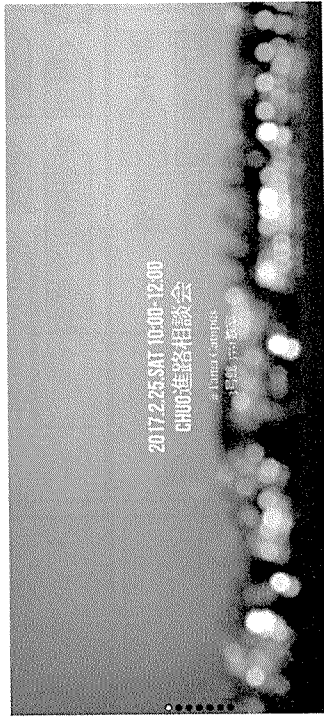


- 多様な業界・業種の現役社会人によるキャリア形成に関する相談会
- 仕事・プライベートなど幅広くざくばらんに話してもらう
- 少人数のグループ別相談会を複数回実施

※参加者や会場の関係からプログラムの順序は変更となる場合もあります。

キャリアセンターとの連携しながら、学生に最も訴求できる媒体にて広報活動を行います。(メール配信、チラシ、webページなどを想定)

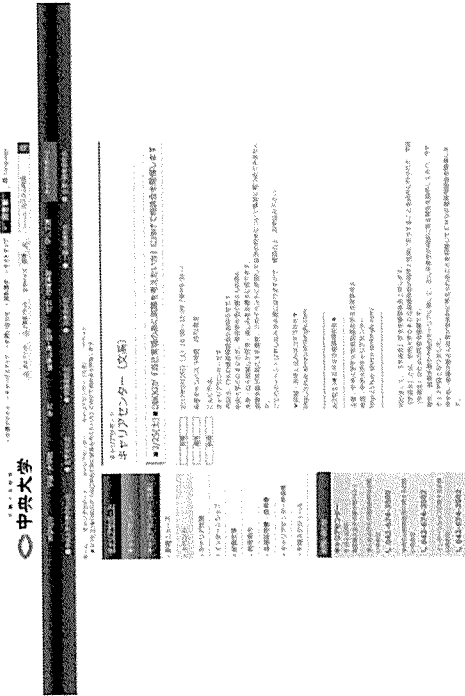
学生支援委員会広報ページ



チラシ・ポスター



中央大学ホームページ



キャリアセンターネット(CNN)

学生へのお知らせ

[2017/02/20]
【自己実現のために就職を考えたい方向け】OBOGによる「CHUO進路相談会」開催のお知らせ
 2月25日(土) 中央大学多摩キャンパスにて、OBOGによる「CHUO進路相談会」を開催します。
 中央大学のOBOGが、現役中大生の皆さんのために本音・自ら経験した苦労・楽しみを言葉々に語ります。

自己実現のために就職を考えたい方は、事前予約の上ぜひご参加ください。

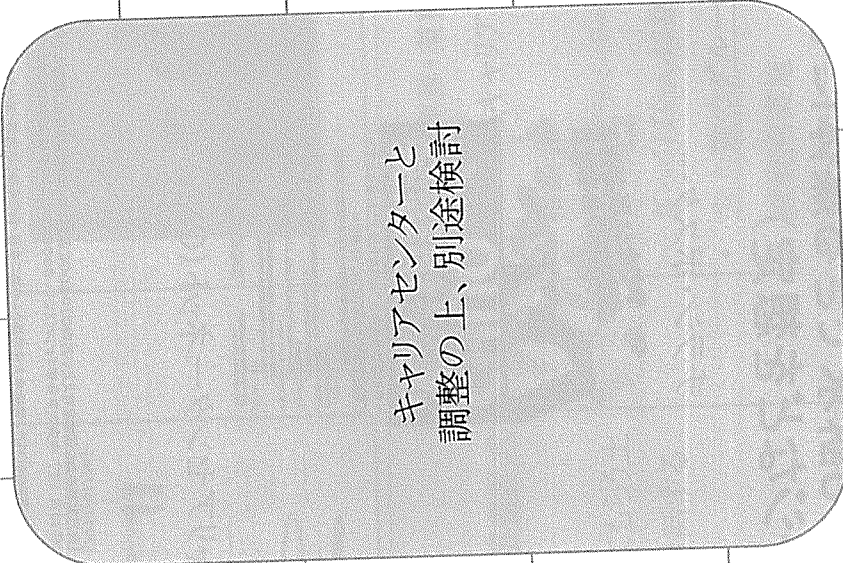
■開催概要
 ・日時：2/25(土)10:00～12:00 (受付9:30～)
 ・場所：多摩キャンパス 3号館 3551教室
 ・対象：全学年
 ・参加費：無料
 ※ブログやLINEなど詳細は、下記URLよりご確認ください。

▼詳細、お申し込みはコチラから▼
<http://chuo-shimmo.strikingly.com/>

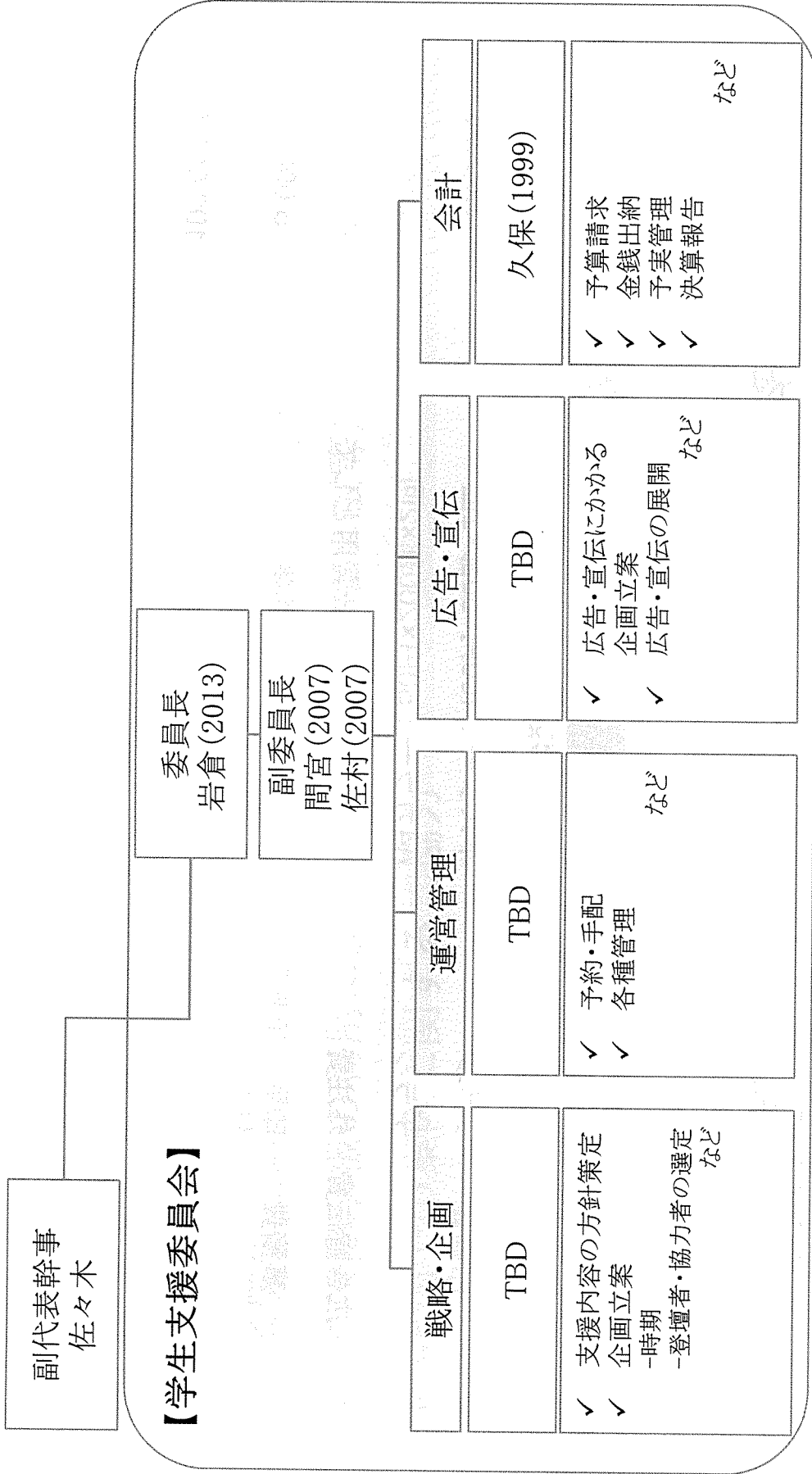
戻る

年間スケジュール

	16年度/3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10-2月	3月
2017年度 マイル ストーン		★キックオフMTG			★イベント実施			★イベント実施 (TBD)	★事業/会計報告
戦略	戦略策定	スケジュール調整 内容検討	決定	企画準備					
運営管理		日程調整 会場調整 社会人等調整	会場確定						
広告宣伝		デザイン/企画 学内配布箇所との調整 印刷・掲示/配布 Webページ作成	冊子準備 印刷						
協力者		社会人リスト作成 学生リスト作成	依頼	依頼					
関係者			キャリアセンターとの調整						



社会人を中心に本委員会の活動を推進しますが、必要に応じて学生と連携し、協働することも想定しています。学員会の活性化につなげます。



予算

イベント配布資料および広告宣伝費用にかかる予算請求をいたします。

No.	大項目	小項目	詳細	予算額 (案)
1		イベント資料	10ページ×100人×10円×2回	20,000円
2	印刷費	チラシ	ポスター：100円×50部×2回	10,000円
3		チラシ	A4カラー：50円×200部×2回	20,000円
4	広告宣伝費	外注費	デザイナーへの委託費用として	45,000円
5	事務費	印刷・消耗品・ 雑費	委員会資料印刷費用等	5,000円
合計				100,000円

学生支援委員会の活動を推進するために、大学内組織に対してお願いを依頼する場合がございます。その際は、ご協力頂けますようお願いいたします。

《スケジュール》

- ✓ 大学（キャリアセンター）とのスケジュール調整

《広告宣伝》

- ✓ 学内掲示板の利用に関する確認（学部掲示板等）
- ✓ 学内での案内に関するご協力